

国指定重要文化財：旧山中家住宅一棟丸ごと絵灯籠

久万高原教育委員会 生涯学習係

1 概要

久万高原町では、愛媛大学次世代人材育成センターや民間団体と連携し、上黒岩岩陰遺跡や旧山中家住宅などの文化財を中核とした地域の文化資源の活用・整備及び教育に取り組んでいる。

その一環として、2024年度より国指定重要文化財である旧山中家住宅を活用した「一棟丸ごと絵灯籠」事業を実施している。近くに所在する国史跡上黒岩岩陰遺跡（縄文時代）をイメージした作品を古民家に設置し、内側からライトアップするユニークな展示表現を行い、文化財の魅力発信に努めている。

2 今年度の取組

(1) 作品の制作

久万高原町出身の日本画家の指導の下、ワークショップを開催した。7月21日には久万中学校にて「集まれ！大きな絵を描いてみたい人」と題し、縄文時代をテーマにした作品制作を行った。

(2) 「一棟丸ごと絵灯籠」の実施

10月4日から12日まで、旧山中家住宅現地において、地域行事「おこもり」に合わせて作品展示・ライトアップ（18:30～20:30）を実施した。期間中はオープニングイベントのほか、かがり火を焚くなどの演出も行った。

(3) 周辺や各地での展示

屋外展示のため実施期間は限定的であったが、来場者からの反響が大きく、要望に応える形で以下の行事等でも作品の一部を利用した展示を行った。

- ・ みかわ納涼まつり（8月23日）
- ・ 林業まつり（10月18日～19日）
- ・ みかわ文化祭（2月22日）

本作品は屋外展示に耐えうる仕様で制作されており、移動や運搬が容易であることから、「久万中学校地域未来教育講演会」等でも活用した。



【一棟丸ごと絵灯籠】

3 成果と課題

史跡や文化財に対する周知・普及の観点からも、各地での展示は概ね好評であった。教育委員会としても本事業を推進し、2026年度からは規模を拡充して実施する予定である。

小中学校の教育課程において縄文時代に触れる機会は限られており、大人を含めた周知啓発が課題である。今後もこうしたイベントを通じて、縄文時代や文化財に対する興味・関心を高める取組を継続していきたい。